

家庭科調査研究報告書

書名 観点	東京書籍 新編 新しい家庭 531
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「A家庭生活と家族」については、第5学年において団らんや家庭生活を見つめる活動や、第6学年において生活時間の工夫、家族の一員として家庭や地域でできることを考える活動などを取り上げており、家庭生活を支えているものを理解し、家庭生活と家族の大切さに気付くことができるようになっている。 ○ 「B日常の食事と調理の基礎」については、第5学年においてサラダやご飯とみそ汁、第6学年において栄養のバランスのよい朝食のおかずづくり、家族が喜ぶ一食分の献立を工夫する活動などを取り上げており、食生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができるようになっている。 ○ 「C快適な衣服と住まい」については、第5学年において小物入れなどの製作や掃除をする活動、第6学年において洗濯などの衣服の手入れ、冬を快適に過ごす工夫を考える活動を取り上げており、衣生活や住生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができるようになっている。 ○ 「D身近な消費生活と環境」については、第5学年において「ノートの買い方」など買い物の仕方を考える活動や、第5、6学年において、衣食住の生活と関連させた環境を大切にす工夫を考える活動を取り上げており、物の選び方や金銭の使い方、環境に配慮した生活の仕方についての関心を高め、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができるようになっている。 ○ 知識・技能の習得・活用・探究への対応については、「カラフルコンビネーションサラダ」「ウォールポケット」など、調理や製作の基礎的・基本的な知識・技能を習得させる実習題材や、「家族が喜ぶ食事をつくろう」「トートバッグをつくろう」など習得した知識・技能を活用するための具体的な活動例が取り扱われている。
内 容 の 構 成 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、学習内容が14の大題材（42の小題材）で構成され、各領域を関連づけて学習を深めていけるよう配慮されている。 ○ 内容の排列については、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習を扱うなど、2年間を通して系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 ○ 内容の分量については、「A家庭生活と家族」の大題材数は3、小題材数は9、「B日常の食事と調理の基礎」の大題材数は4、小題材数は12、「C快適な衣服と住まい」の大題材数は6、小題材数は18、「D身近な消費生活と環境」の大題材数は1、小題材数は3であり、総大題材数は14になっている。
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ マークやコラム欄によって興味・関心をもたせ、ワークシート例を掲載し学習活動を促すなど、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 「自由研究」を示し、長期休業中における家庭と連携を図った活動を促すなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 字体や配色を工夫するとともに、実習、実験における安全や衛生に留意しながら学習を進めるため「安全」マークを示すなど使用上の便宜が図られている。
その他	（空欄）

家庭科調査研究報告書

書名 観点	開隆堂 小学校 わたしたちの家庭科 5 3 2
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「A家庭生活と家族」については、第5学年において団らんや家庭生活を工夫する活動や、第6学年において生活時間の工夫や、家族の一員として家庭や地域でできることを考える活動などを取り上げており、家庭生活を支えているものを理解し、家庭生活と家族の大切さに気付くことができるようになっている。 ○ 「B日常の食事と調理の基礎」については、第5学年においてサラダやご飯とみそ汁づくり、第6学年において朝食に合うおかずづくり、栄養のバランスのよい一食分の献立を考える活動を取り上げており、食生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができるようになっている。 ○ 「C快適な衣服と住まい」については、第5学年においてカード入れなどの製作や冬を快適に過ごす工夫を考える活動、第6学年において掃除や洗濯などの活動を取り上げており、衣生活、住生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができるようになっている。 ○ 「D身近な消費生活と環境」については、第5学年において「買い物名人〇か条」など買い物の仕方を考える活動や、第5、6学年において、衣食住の生活と関連させ環境に配慮することの大切さに気付く活動を取り上げており、物の選び方や金銭の使い方、環境に配慮した生活についての関心を高め、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができるようになっている。 ○ 知識・技能の習得・活用・探究への対応については、「カラフルゆで野菜サラダ」や「ランチョンマット」など、調理や製作の基礎的・基本的な知識・技能を習得させる実習題材や、「身近な食品でおかずをつくろう」「マイバッグをつくろう」など、習得した知識・技能を活用するための具体的な活動例が取り扱われている。
内 容 の 構 成 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、学習内容が17の大題材（42の小題材）で構成され、各領域を関連づけて学習を深めていけるよう配慮されている。 ○ 内容の排列については、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習を扱うなど、2年間を通して系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 ○ 内容の分量については、「A家庭生活と家族」の大題材数は4、小題材数は7、「B日常の食事と調理の基礎」の大題材数は4、小題材数は12、「C快適な衣服と住まい」の大題材数は7、小題材数は17、「D身近な消費生活と環境」の大題材数は2、小題材数は6であり、総大題材数は17になっている。
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ マークやコラム欄によって興味・関心をもたせ、実習・製作においては手順を詳細に写真や図で示し、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 「チャレンジコーナー」を示し、長期休業中における家庭と連携を図った活動を促すなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がされている。 ○ レイアウトや配色を工夫するとともに、安全や衛生に留意しながら学習を進めるため、「安全」マークを示すなど使用上の便宜が図られている。
その他	